

平成22年7月27日
国土交通省直轄事業における公共事業の
品質確保の促進に関する懇談会

資料5

調査・設計等分野における品質確保に 向けた検討について(案)

1. 平成21年度の検討方針

(1) 入札契約制度に関する課題

青字は検討方針

- 1 国土交通省直轄業務における総合評価方式の実施状況を年次報告としてとりまとめ、公表する。
- 2 実施手順の見直しによる業務の効率化、簡素化については、比較する事例が少なかったことから、平成21年度にいくつかの試行を行った上で検討する。
 - ア) 技術提案書提出者指名数の限定化
 - イ) ヒアリングの省略
 - ウ) 手続日数の見直しによる短縮
 - エ) 業務分類(4象限図)の見直しを行う予定。
- 3 設計共同体の活用について検討を行う。
 - オ) 設計+地質調査、環境調査で、設計共同体を現行より拡大して試行。

1. 平成21年度の検討方針

(2) 低入札対策

1 業務コスト調査の実施・分析

かかった費用(コスト)と業務成績、利益の発生状況等を調査する「業務コスト調査」を実施しているところ(約1,000件超)であり、早急にデータの分析・評価を行った上で必要な対策を講じる。

ア) 昨年度の業務コスト調査結果の収集と対応策の検討。

2 低入札追加対策の検討

しかしながら依然として厳しい低入札状況に直面しており、当面の措置として更なる緊急的な低入札対策の実施について検討を行う。

イ) 「手持ち業務量の制限」等、更なる低入札追加対策の試行。

(3) 新たな積算手法

1 設計業務における新たな積算手法について一部の業務において試行を開始し、課題等について検証する。

ア) 約50件の新たな積算手法試行、課題分析を実施。

(4) その他

1 評価項目、評価テーマ数の精査については、平成21年度に更に実施例を積み重ねた上で検討する。

ア) 技術評価点に差をつけるための1位満点方式のシミュレーション

イ) テーマ数の精査(済)フォローアップ

2. 平成22年度の実施計画(案)

(1) 総合評価方式の実施状況のフォローアップ

○国土交通省直轄業務における総合評価方式の**実施状況を年次報告として取りまとめ、公表**する。【参考5-2】

① 事務手続きの改善

○総合評価の実施手順見直し(技術提案書提出者数の限定化、ヒアリングの省略、手続き期間の短縮)による業務の効率化、簡素化については**平成21年度の試行結果のアンケートをとりまとめ、方針を決定**する。【参考5-3】

○**履行確実性の評価、標準的な発注方式事例、設計共同体の評価方法**についてフォローアップを行い効果、適用状況などを検証する。
【参考5-4~6】

2. 平成22年度の実施計画(案)

(2) 更なる透明性の確保

- 技術者資格の評価について、技術者に求められる要件とふさわしい技術者資格について方針を決定する【参考5-7】
- 総合評価方式に関する更なる透明性の確保に向け、工事の透明性確保施策を基に検討を行う。

(3) 新たな積算手法

- 新たな積算手法の今後の方針を決定する。【参考5-8】

(4) 設計の品質向上

- 設計業務の成果品の品質向上に向け、受発注者の行うべき取り組みを検討するとともに、成果品を用いて発注する際の確認体制等を検討する。